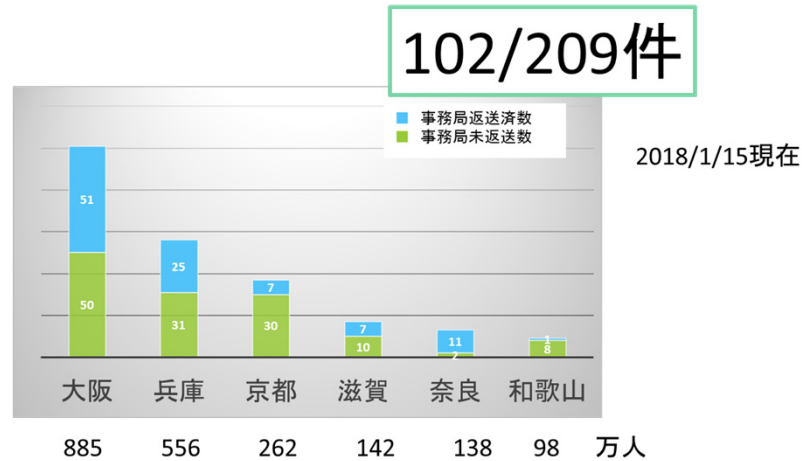


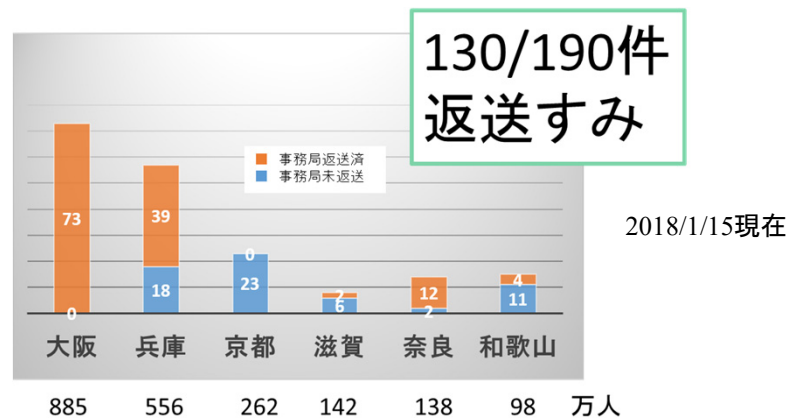
平成29年度の成果

研究分担者：大阪大学大学院医学系研究科神経内科学 望月秀樹

平成27年度以降の調査実績



平成23-25年度未処理分の対応状況



- 1. 当科で過去に経験したGerstmann-Sträussler-Scheinker病(GSS)症例の経験を剖検症例を含めて報告した。**
 - ・GSSにおいて早期診断の方法や胃瘻増設における感染予防対策などの問題点の解決が望まれる。
 - ・剖検例では視床に蜂巣様変化を認め、急性に症状が進行した可能性を有する症例を経験した。
- 2. 近畿ブロックサーベイランス調査の状況**
 - ・各府県担当専門医と連携して各施設へのサーベイランス調査を進めている。
 - ・以前の未処理分についても継続して働きかけを行っていく。